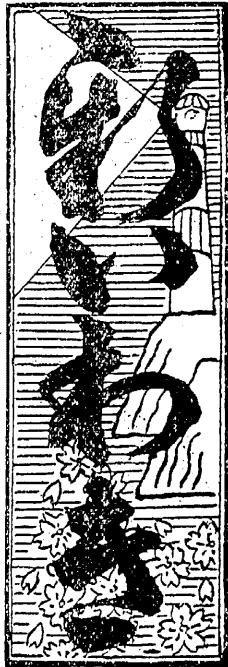


刊夕日二廿月一十



木炭検査の縣營に

愈よ猛烈な反對運動

縣會期中福島に同志集合して

多面的に悪影響を絶叫

濱三郡木炭同業組合に於て得たる後企圖を遂入財源第一線に起つ木炭検査縣營に向けて民間經營の諸事業に對する反對運動は全國幾を奮ひ去りたる前例少な

多の實例を上げて民衆壓迫とされず而かも理由なき非の非を鳴らしつゝあるとこ取難に際會の場合極端な

るで縣も一ヶ年延期に内意の検査料等の低減を示して

を決め時局靜觀の模様を傳一般當業の輕負擔を標榜し

へられてゐたが同案の實施に遂に所記の目的を達成す

が端なくも明年度豫算に組れば標榜せる負擔輕減は單

み入れられてゐるので組合に當座の餌に止まり遂次料

側の憤懣狼狽一方ならざる金の値上げを行ふことに何

ものあり從來縣が斯の種民等の躊躇を置かないが例で

業奪取の裏には常套的手段斯の如きは思想的に産業的

として事業の創設苦を民間に其影響が好ましくなら

に負擔せしめ爾後の經過成るとの主張の下に福島その

績を見て何週年記念と稱す他の同志組合と共に縣會開

る祝賀式等に關係官吏が堂中福島市に集合右反對の

々たる席を占め少なからぬ猛運動をなすべく計畫され

記念功勞金を役徳の裏に獲てゐると。

休日：日曜、祭日
郵税十五錢一部五錢
廣告料：一行四〇錢
場所指定：一行四〇錢
發行所：福島縣平町大町五
牛、谷、政、喜
新いわき新聞社

常識講座

集まつた仲間と呼稱に
アマチュアなど云ふの
があるが好事家同志の
事でも運動好きのグル
プでも素人仲間謂は
道楽半分と云ふ所だ

聯合對策を協議の筈であるを講じられる様また向後の

が従來行はれた同様被害の策として農業保險等も議題

救済等に農作物種子の無料となる模様であつて出席者

配給位では被害者の更生到各自持寄りの議案には縣會

底覺束なきを以て免租及び局として考慮に償するもの

農工勸銀等の負債償還そのが少なからうと云はれ

他適當なる事業を起して充てゐる。

分に更生し得る程度の施設

石城郡南に於ける舊菊多郷もの多きを覺されて來た

の九ヶ町村が陸軍被服廠かので同地方有志の企圖に基

ら兎皮五萬枚の購入を本縣づく實現は遠くならうと

に割當てられたもの中千五観られてゐる。

百頭を共販する計畫あるは

既報の如く來月早々之れに

着手する希望蒐集の結果は

二千頭に達せんとする盛況

で同方部中心の植田町も郡

農會出張所の指導督勵に此石城郡田人村外上遠野入遠

の處置斡旋の爲め大努力を野三ヶ村聯合の農産物品評

なすことになつたが柴田郡會は明二十三日から一十六

東部聯合の

教育總集會

廿七日富岡町で
併教育品展覽會

本縣東部に於ける石城、双

葉、相馬三郡聯合教育會の

總集會は來る二十七日午前

十時から双葉郡富岡小學校

に於て開催の筈で二十六日

は代議員會を開き總集會の

提案を決議することになつて

ある向ほ二十六、七兩日は

濱三郡各小學校から出品の

教育品展覽會を開催されるの

で當日の富岡町は相當の賑

はひを豫想され外、者歡迎

その他の諸準備中である

勿來品評會

石城郡勿來町では來る二十

五六七の三日間同町尋常高

等校内に農産物品評會を開

催の筈であるが二十七日は

賞狀授與をなす。

小名濱港修築

今日豊間で

遭難者合葬

消防手には協

石城郡豊間村の消防手遠藤

徳太郎、四家信之助の兩氏

は去る暴風雨當日出漁中難

破の爲め海の犠牲者となつ

た同葬儀は今日二十日午後

一時同村海岸に於て執行さ

れたが石城海防協會では兩

氏の爲め會長小田部平署長

から弔辭を供へ向ほ遠藤消

防手は十七年余の勤績者で

縣消防協會から香料金若干

を贈られた。

中作漁港

遅れたのは擔任

病氣の爲めから

申立調査

平町は於て衆議院及び縣町

の理由で異議申立を提出し

たもの舊城跡一、白銀町繼

續の修築は總工費十五萬

農村救済の

調査資料

石城郡は平

縣では過般の暴風雨被害に

對し相當の考慮を以て救護

施設をなすべき意同の如く

被害地に於ける詳細なる調

査を進めてゐるが農村救済

の資料となす水稻施肥量

の調査は石城郡に於ては

平窪村によつて反當量及び

所要額等の調査を近く開始

されと。

近々着工

遅れたのは擔任

病氣の爲めから

申立調査

平町は於て衆議院及び縣町

の理由で異議申立を提出し

たもの舊城跡一、白銀町繼

續の修築は總工費十五萬

なつた。

夜長物語(三)

漫遊漫評

其畫工も應譽だと云はれる

たは別な畫工だと云はれる

て居りますが兎に角寫生と

是非共染めて頂くつもりで

先刻から墨の用意もさせて

があるから、と強へられたの

で春草も平生の愛顧の恩誼

と落膽ははたで見る眼も氣

もあるので断りかね席を更

の毒な程であたりの人々も

ちた處の繪をかき上げた。

夜長物語(三)

其畫工も應譽だと云はれる

たは別な畫工だと云はれる

て居りますが兎に角寫生と

是非共染めて頂くつもりで

先刻から墨の用意もさせて

があるから、と強へられたの

で春草も平生の愛顧の恩誼

と落膽ははたで見る眼も氣

もあるので断りかね席を更

産業方面

穀物の補助乾燥

簡易乾燥法(八)

(ホ) 煉炭火鉢、煉炭火鉢は石油空罐を利用したるもの或は最近販賣せられたる鑄物製煉炭火鉢が取扱が輕便である、石油空罐を利用するものは最も經濟的、其の構造は煉炭を載せるため鐵サナを造り之れを罐の下より四寸位の處に四隅に受け釘又は針金を通して置けば煉炭の焼け殻を捨てる場合にも都合がよい、火格の中へ半着き火の炭を一杯入れて煉炭を載せ周圍へ灰を詰めて置けば速かに火つきするのである、猶ほ爐内へ入れた時は瓦を載せ熱が兩棚下に向ふ様にして置く空氣孔は五分位の孔を五個位開けて置き而して翌日猶ほ火氣を殘す様なれば更に一個位増す様にするのである、

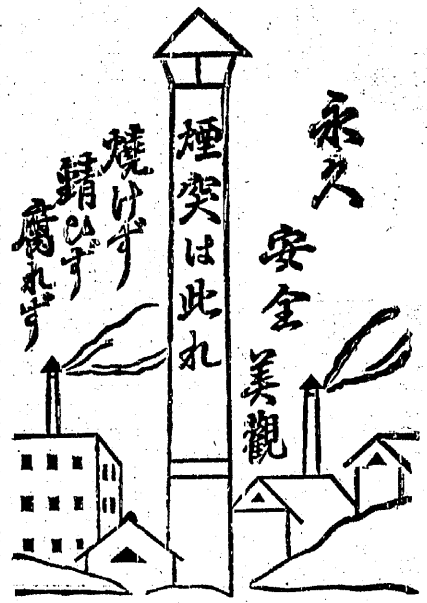
(ハ) 綠藻、之れは爐の上部に且つ兩棚間の距離一杯に作れば良く蓋は二枚作つて下の煉炭火鉢の出入を行ふ蓋の下及び蓋脚は「トタン」板を張り火災の豫防とする火災は右のトタン張及び爐の深さを前記の如くなし又煉炭火鉢に蓋一瓦の如きものを載せれば決して懸念はない綠藻の高さは一

尺とし八分板位のものを以て作れば此の上で糠の出し入れを行つても差支がない

難波醫院

内科 醫學博士 難波睦
一般 博士 難波睦
平町大町新川端
(電話五〇二番)

牛も豚も優良品の自慢
肉の御 三三三屋 平町字
用命は 三三三屋 田町



煙突の特賣開始
(期 十月十五日より
間 十二月一日まで)
大谷建材商店
平紺屋町 電663

食堂設備 お好みの設計
室内装飾 御用命直ちに專屬の技術員を差遣し破格的大勉強でお調べ致します

丸はん家具店
平町三丁目電話三五九番

共濟病院案内
院長 醫學博士 石山謙郎
小兒科 醫學博士 石山謙郎
外科耳鼻咽喉科 醫學博士 佐久間粹
喉科皮膚科 醫學士 有馬重次郎
産婦人科 醫學士 五十嵐雄二
X光線科 醫學博士 石山謙郎
衛生試驗所 醫學博士 石山謙郎
藥局 藥劑士 吉本幸平

◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急症は此の限り非ず
平町 磐城共濟會
電話六四一番

債券、公債、兩替、金融
多田井質店
平町大工町
電話五九一番

移轉のお知らせ
從來の館では手狭であり尙ほ新館建築の計畫もありませんので左記に移轉いたしました、

美術引伸 齋藤寫眞館
人公會堂池の端 平町字大町五
電話(呼六三七)

入院應需
明雲堂眼科醫院
平驛前(電話六六九番)

安價で…… 天然加里肥
効果的…… 最も適應する作物!
▲ 蔬菜、馬鈴薯、里芋、しやうが類
▲ 茄果類ではトマト、茄子の如き比較的病害に弱い作物に施用すれば抵抗力を與へ落果を防ぎます
▲ 天然加里肥は酸性でないからいかに施用しても土壌を惡變する虞は絶對にありません

一俵三十錢 (大量取引は特に割引致します)
製造販賣 金成國雅
平町鎌田
電話六八八番

内科、小兒科
大森醫院
醫學士 大森勇
平町南町
(電二五八番)

雨露に晒す程 煙突は 朝日
石綿セメント製 朝日煙突
絶対に はげない!!
経済的で 大気の心配がない

金屋商店

「クスリ」の調査 平町五丁目角
體 粧 品
化 温 計
山野邊藥局

郷土生薬の研究
和漢藥療法の研究
顧問、藥學博士 柳澤秀吉先生指導
東華皇漢藥研究所
主任、藥劑士 山野邊東次郎